

## 昭和57年度 福島県教育センター所員研究課題一覧

本県が当面する教育上の課題や、学校における教育実践上の問題については、それぞれテーマごとにプロジェクトチームを編成して、研究を推進しているところである。

また、これら共同研究のほかに、個人の専門性を高めるとともに、その成果を研修講座に反映させ、講座内容のいっそうの充実を図るための個人研究にも取り組んでおり、その研究課題を紹介すると次のとおりである。

所 属	氏 名	研 究 課 題		
経 営 研 究 部	加 藤 茂 雄	校内研修推進上の問題と改善策について		
	須 永 英 次	「教育課程の経営」に関する基礎的研究		
	佐 藤 武	「教育課程の経営」に関する基礎的研究		
	斎 藤 洸 旦	特別活動における評価		
	松 本 喜 男	生徒指導における生徒理解		
	佐 藤 嘉 之	実践力を育てる道徳の授業		
	小 林 正 守	特別活動全体計画の改善		
	田母神 淳	授業の設計と教育機器の活用		
	山 田 明	わかる授業をめざすOHPの活用とTP製作		
	教 資 料 育 係	吉 田 昭 典	教育研究資料件名目録による学校経営研究の動態についての調査と分析	
		松 浦 正 直	教育研究資料の中学校教育課程経営にみる進路指導の現状と課題	
		羽 田 義 光	学校経営と校内研修	
	教 科 教 育 部	教 科 教 育 係	吉 田 伊 勢 吉	「現代社会」に関する研究
			石 田 威	保健学習における小・中・高の一貫性について
		上 川 洋 行	数学科における評価	
		渡 部 裕 之	到達基準を明確にした「敬語指導」	
		安 部 哲 夫	授業における歌唱指導のあり方	
		田 中 四 郎	子どもの造形表現の発展と色彩指導のあり方	
		深 谷 秀 三	児童自らが工夫し、励むゲームの指導法	
		三 浦 光 孝	数学科における授業の改善と形成的評価の取り入れ方	
		(教科研究班)	大 河 原 博 美	「英語1」の授業の進め方
			半 澤 正 一	語彙指導の理論と方法
		菅 原 文 也	社会科における地域素材の教材化—人物と文化財を中心に—	
		酒 井 義 浩	英語科における言語活動中心の授業実践のための一考察	
科 学 技 術 教 育 部	理 科 教 育 係	大 越 勝 忠	理科生物領域における資料学習指導について	
		宮 内 三 良	「理科Ⅱ」に関する研究	
		入 道 正	「ひまわり」の雲写真の教材化に関する研究	
		平 山 昇	「理科Ⅰ」及び選択化学における分子量の測定法について	
		亘 理 尚 寛	連続した発想能力と状況対応力を育てる物理教材の開発	
		川 上 一 男	小学校低学年における理科を中心とした合理的な指導について	
		吉 田 隆	化学の基本法則に関する教材の実験と指導法	
	技 術 教 育 係	笹 川 征 喜	低周波増幅回路の設計に関する指導のあり方	
		佐 藤 清 子	児童の家庭生活の認識と家庭科学学習指導の研究	
	情 報 処 理 教 育 係		仁 科 彦	情報処理教育学習指導法—COBOL言語—
		中 野 敏 光	自動製図	
		黒 須 聡	TSS端末を利用したNC指令テープの作成システムの開発	
		鹿 俣 和 子	TSS端末を利用したNC指令テープの作成システムの開発	
教 育 相 談 部		教 育 相 談 係	折 笠 仙 衛	学級担任の相談的な教師像のあり方
			佐 藤 晃 暢	GAT (不安傾向診断検査) による親と子の不安の矛盾について
		嶋 原 弥	教育相談におけるバイオフィードバックの利用	
		小 川 兼 太 郎	カウンセリングにおける親業訓練の利用について	
		五十嵐 昭 義	情緒障害児に対するバウム (樹木画) テストの反応についての一考察	
	佐久間 益 郎	教育相談における箱庭療法の利用		